



## 株式会社いずみや 牛堀中学校へ私募債寄付

株式会社いずみや（代表取締役：村松 卓さん）より牛堀中学校へ、千葉銀行の地方創生私募債（愛称：みらいはぐくみ債）を活用し、防滴形ワイヤレスアンプ・マイクが寄贈されました。村松さんは、「地域の未来を担う子どもたちに使ってもらい、成長していてもらいたい」と話していました。ありがとうございます。

牛堀中学校  
10/26(水)



## JAなめがたしおさい 学校給食のために地元農産物を提供

なめがたしおさい農業協同組合（代表理事組合長：安藤 昌義さん）より、今秋収穫された地元農産物（新米（潮来市産あやめちゃん）、ピーマン、チンゲン菜）を学校給食の食材として無償でご提供いただきました。安藤さんは、「地元食材を通して、子どもたちに地域の素晴らしさを知ってもらいたい」と話していました。提供された食材は、学校給食で使用される予定です。ありがとうございます。

教育長室  
10/25(火)



牛堀小学校



潮来小学校

## 小学校で手話講座

各校の4年生を対象に、聴覚障がい者の方による講話と手話講座が行われました。鹿行聴覚障害者協会から、講師として高木 茂晴さん、越地 信子さんのほか通訳者2名をお招きし、手話での挨拶や自己紹介などを学びました。参加した児童からは「これからも手話を覚えて、耳の聞こえない人の役に立ちたい」などの感想が聞かれました。

牛堀小学校・潮来小学校  
11/10(木)・16(水)



## 株式会社トラストホーム他協力関係者 市内小中学校へ備品寄贈

株式会社トラストホーム（社長：篠塚 保嘉さん）他協力関係者67名より、市内小中学校へ、児童生徒用図書やラインカー、WEBカメラ等、各校の実情に合わせた備品を寄贈いただきました。今回の寄贈は、同社が道の駅いたこで開催した「まちおこしイベント 道の駅ビレッジ」の売上等の一部をご寄付いただいたものです。篠塚さんは「子どもたちのために役立ててほしい」と話していました。ありがとうございます。

市長室  
11/4(金)



11月1日(火) 牛堀小学校  
JFAこころのプロジェクト「夢の教室」

元なでしこジャパン（日本女子サッカー代表）として、女子ワールド杯やアテネ五輪に出場した小林 弥生さんが、5年1組の児童と一緒に体を動かしたり、夢を持つことの大切さなどについての授業を行いました。小林さんは、「夢を叶えるためにはどうすればいいかを考えて行動することで、成長することができる。成長して、楽しいという気持ちを大切にしてほしい」と話していました。



10月30日(日)  
津軽河岸あと広場周辺  
市民協働 植栽事業

「潮来市日本一の水路のまち基本計画」に基づき、草花による彩りのある水辺づくりを目指し、一級河川前川沿い（津軽河岸あと広場周辺）において、市内団体や市民の皆さま約60名により、植栽事業が行われました。春には川沿いがシバザクラとスイセンで彩られます。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



10月24日(月) 古高地区  
まこもたけ収穫

潮来市シルバー人材センター会員の方や、農家の皆さんにより、まこもたけの収穫が行われました。潮来市では、特産物としてのまこもたけの振興を目指し、栽培面積の拡大を図っています。まこもはイネ科の多年草で、茎の根元が「まこもたけ」という食用部分になります。シャキシャキとした独特の食感があり、煮物や天ぷら、中華料理等、様々な料理と相性のいい食材です。まこもたけは、道の駅いたこ等で販売されていますので、ぜひご賞味ください。



11月14日(月) 市長室  
ソフトバレー VAINQUEUR 表敬訪問

9月に開催された「第11回全国ソフトバレー・スポレクフェスティバルin長野」のスポーツクリエイションの部で8位入賞したソフトバレーチーム「VAINQUEUR」の代表 草野 真理さんが、市長を表敬訪問されました。草野さんは「今度は別の大会でも関東大会に出場するので頑張りたい」と話していました。



11月11日(金) 潮来第二中学校  
JOCオリンピック教室

潮来第二中学校の2年生を対象に、2006年トリノ五輪ボブスレーに出場した長岡 千里さんが、自身の様々な経験を通して「オリンピズム」やその価値などについて授業を行いました。長岡さんは「心の中に興味の柱をいっぱい建ててほしい。興味を持ち、挑戦をしていく中で、自分が本当にやりたいことを見つけ出せばいい」と、生徒たちに語りかけていました。



11月4日(金) 潮来市役所  
オレンジリボンたすきリレー 2022

子どもの虐待防止啓発活動を目的に、「オレンジリボンたすきリレー」が茨城県内各地で行われました。虐待防止の象徴であるオレンジリボンをたすきに仕立て各市町村へとリレーし、虐待防止への市民の関心を高めることや、関係機関の協働の大切さを訴えました。